



今回の担当は岩城担当のヒューズ・マイケルです。ALTとして上島町に赴任して約3ヶ月、その間の心境の変化について語っています。

Hello, everyone.

I'm Michael, the ALT on Iwagi.

Since I first came to Iwagi, I've seen many festivals. Naturally since Kamijima-cho values its own history, I would imagine that not much changes from year-to-year in its festivals. I think that preserving history is a great thing, and very natural for festivals to stay the same.

However, my experience with festivals has recently changed completely. At the time of Yuge's summer festival, I had only met about ten citizens of Kamijima-cho. There were many new faces, and for that reason, Yuge's summer festival was very fun. Two years ago, when I travelled to Nagano I saw a local festival-in the same way, when I first came to Kamijima-cho, it felt like I was travelling again.

Yuge's festival ended, three months passed, and it became fall. Since my life on Iwagi completely changed in those three months, of course my experience with festivals completely changed too. While I still didn't recognize many faces, what changed was that Iwagi no longer felt like a place where I was travelling, but a place where I was living. I met many students that I teach at school, and I talked to many adults that I had met around town. Though I learned many new things about local culture, my best experience was knowing people on Iwagi, and therefore understanding the place a little more.

I did a lot in my first three months on Iwagi. I didn't know anything about Ehime before I came to Iwagi, and though I've come to understand a little bit, there are still many, many things that I want to do.

《弓 削》	毎週月曜日	19:30 ~	弓削地域交流センター
《生 名》	毎週月曜日	9:00 ~	生名公民館
《岩 城》	毎週木曜日	20:00 ~	岩城総合支所庁舎
《魚 島》	毎週水曜日	19:30 ~	魚島開発センター

皆さん、こんにちは。

ALT岩城担当のマイケルです。

私は初めて岩城に来て以来、色々な祭りを見ました。やはり上島町の祭りは、伝統を大事にしており、昔とあまり変わっていないのではないかと思います。歴史を守るのはとても良いことだと思うし、それは当たり前のことのように思います。

祭りを通して自分自身の意識がすっかり変わりました。弓削の夏祭りの時、僕はたった10人ほどの知人にしか会いませんでした。弓削の夏祭りでは、初めて出会った人たちもたくさんいて、とても楽しむことができました。2年前、長野旅行で現地の祭りを見に行った時と同じような雰囲気、再び上島町でも味わうことができました。

弓削の夏祭りが終わって、3ヶ月が過ぎ、秋を迎えました。3ヶ月で生活はすっかり変わり、また祭りの体験も変わりました。変わったことは、まだ知らない人たちがいるにも関わらず、岩城は観光地ではなく、居住地になったということです。色々な学校で教えている子供たちと出会ったり、上島町で出会った方々と話したりしました。岩城の文化についてたくさん教えていただき、岩城の方や岩城という場所について知ることができたことは僕にとってよい経験になりました。上島町について少し分かってきたような気がします。

岩城に来て3ヶ月、僕は色々なことに取り組みました。岩城に来るまで、愛媛について何も知りませんでした。少しずつ分かってきましたが、ここでやりたいことはまだまだたくさんあります。

文・訳：ヒューズ・マイケル

(これは、ALTの原文を載せています)



こんにちは 町長です

十月二十六日に開催された「国際サイクリング大会」においては、町民の皆様を初め、多くの方々のご協力をいただき、誠にありがとうございました。天候にも恵まれ「世界に誇れる」大会になりました。

何よりも上島町民の声援やおもてなしが温かく、国内外のサイクリストから感動の声があがっていました。

私も今治から上島町のコースを走らせて頂きましたが、改めての発見がありました。それは、上島町は瀬戸内を代表するにふさわしい、素晴らしい綺麗な情景であるということです。自動車道を開放した「しまなみ海道」縦断も初めての経験でしたが、自転車と共に船で移動し、上島町内の島々を駆け抜けるその爽快感は自動車道に勝るものがありました。エントリー八千名の内、限定五百名が上島町のコースでしたが、事前の申し込みで真つ先に満杯になった理由は、こういうことであつたのかと再認識させられました。

翌日もジャイアント社の劉会長や中村知事、台湾からのお客様数十名と「とびしま海道」など約七十キロを走りました。劉会長は「国際サイクリング大会」前日の夜遅く日本に入り、同じ距離を走ったばかりなのに、その体力には驚くばかりです。

劉会長は御年八十歳、上島町民の皆さん今から始めても十分楽しめます。

「健康」「友情」「生きがい」。

レッツ・サイクリング



上島町長 上村俊之